

運動会の進行が遅れた問題について、生徒の意見を聞いた。四月の生徒総会でも運動会の運営に関して質問・意見を述べた瀬浦美亜人さん（Ⅲ―1）と寄府ロリヤさん（Ⅱ―3）だ。

瀬浦さんは、生徒会執行部に対し生徒総会で運動会運営の改善を求めた。「昨年、時間の遅れの問題が指摘されていて、その点の改善を求めたのに、もっと悪くなってしまったことについて、怒りを感じている」と話す。生徒会長がボランティアスタッフが集まらなかったことが原因で、上級生の自覚不足が原因だと指摘していることについて、「責任の所在をスラされている感じがする。ボランティアスタッフがなかなか集まらない問題も昨年すでに起こっていたことで、それを生徒の意識の問題にするのは、違うのではないか。私は、執行部の対策に問題があったと思う」と反論する。

また、寄府さんは「生徒の自覚に期待してボランティアスタッフが運営しようとする姿勢は、生徒会活動として間違っていないのかもしれない。しかし、実態との間にこれだけズレが生まれているのだから、現実を認め

て反省すべきだと思えます」と話し、具体案として「各クラスから体育委員の他に必要だけの運営スタッフを四月中に決定し、仕事分担と仕事内容の検討、実際の動きの練習を早期におこなうこと」を提案する。強制的に必要なだけの人員を確保するという考え方だ。寄府さんはこの案を、代表委員会を通じて生徒会執行部に示したいと語っている。

【記者 舞台ひかる】

学校の近くでグルメを探そう！

戸松メアリが部下・出暮碧を従えてグルメ旅に出るこの企画。記念すべき第一回はどのグルメでしょうか？

碧の情報によると、学校の坂を下って国道を右折し、そのまま永遠に歩き続けると隣町に入ります。入ってすぐの交差点を右に曲がり、左に曲がり、また右に曲がるとそのお店があります。「学校近くのグルメを探せ」と命じたのに、隣町を紹介する後輩にあきれたのですが、「わたしにとっ

れぞれですよね」。

その店は壁一面にツタが絡まり、ホラー映画の舞台になりそうな外観。看板もツタでほぼ見えなくなっているし、入りづらいことこの上なし。

碧の情報に激しい不安を抱きながらドアを開けてみると、店内は予想以上に古ぼけて、おじいちゃん

な問題にぶち当たるのでした。このお店と料理の写真を使わせて欲しいとお店にお願ひしたのですが、「うちはこれ以上お客を増やしたくないので断る」と言われてしまいました。さらに、店名も載せるなと言われました。私たちが以外に客なんていなかったのに、繁盛店の頑固親父みたいなのを言うな！ということ、第一回は写真なしとなりましたが、第二回を期待ください。

【記者 戸松メアリ・出暮碧】

いつの間にか背後に老婆が立っていたのでちょっと飛び上がりそうになったのですが、それが店員さんでした。碧はすでに顔見知りらしく、メニューも見ずにスパゲティナポリタンを注文。私も慌てて同じものを注文しました。

さて、そのナポリタンなのですが、碧はたいそう気に入っているらしく、「これこそグルメです」と断言します。

しかし、その味たるや、ケチャップの味が強すぎ、コンショウが効きすぎていて、私は粉チーズを山ほどかけて味をごまかし、無理矢理食べました。味の好みに個人差があることは重々理解しているのですが、「グルメ」とは何かという、哲学的